



コース一周できます！！

今後もヒグマの出没状況などに応じて開放状況が変わる場合がありますので、入山時にはレクチャーを受け、ヒグマに対する心構えを持った上で沼巡りコースを楽しんでいただくよう、お願いいたします。

9月18日から27日まで環境保護のため自家用車規制を行いシャトルバスでの運行が始まります。

来春まで旅に出ます



また来年ね

今年もたくさん姿を見せてくれたヒグマたちですが、最近ほとんど見られていません。これはヒグマの生活環境が変わるためと言われています。早春には、雪解け直後から生えてくる植物を食べに高根ヶ原斜面に来ていたが、秋にさしかかり木の実やハイマツの実などを好んで食べるため沼巡り登山コースで見られることは少なくなってしまいます。登山道上で人と遭遇してしまうと安全が確認されるまでコースを制限したりとワマ次第のヒグマ情報センターですが、見られなくなると寂しいものです。最近では「林道でみた」「緑岳でみた」なんて聞くと林道でつい探してみたり。。。みんなヒグマツツクのセンター員達ですが間もなくやってくる紅葉時期に向け準備にはげみます。

最近のヒグマ情報	29日	なし
	30日	なし
	31日	食痕、糞
	1日	1頭
	2日	なし
	3日	なし
	4日	なし
	5日	足跡
6日	なし	
7日	なし	

沼巡り登山コースの入山規制について
入山受付7:00～13:00まで。下山時間15:00まで。
この時間外は入山できません。
なお、入山前に必ずヒグマ情報センターで入山届けを記入し、レクチャーを受けてから入山してください。



秋の気配。

コースから見える緑岳の中腹。車のシートベルトのように左上から右下にかけて通称「タスキ」と呼ばれています。分かるでしょうか？ほんのちよっぴり色づいてきましたよ！
9月18日～27日までの期間は一般車の入山規制がはじまりシャトルバスの運行が始まります。今年はコロナの関係で一日の入山は240人までという規制がかかるようです、詳しくは上川町役場におたずねください。かなりの混雑が予想されます。

「センター員のもえ～劇場」

えいや！と頭を突っ込む。え～無理じゃないの？と思っている内に。。。

ワマがいない近頃、センター員の楽しみは。。。マルハナバチきゅっと閉じているエゾオヤマノリンドウの花びらを両手でぐいっと押し開けて。。。

脚なのか手なのか分からないけれどもももももも、と中に入っていくんですが、どうも不器用なやつはおしりが出ているばたばたしているのです。。。そんな姿にもえ～ってしちゃいますよ。



7月初旬と最近の空沼の写真です。高根ヶ原斜面の雪はほぼ無くなり溢れんばかりにあった沼の水はほんのちよっぴり残すだけ。これぞまさに「カラ沼」の名前の由来ですね。

6月20日にスタートしたヒグマ情報センターですがこのような劇的な変化を目の当たりにすると、自然のすごさ、大きさにただ驚くばかりです。

これからの時期は晴れたと思ったら雨が降ったり、寒い日の次の日に暑くなったりと、予想できない天気が続きます。晴れていてもお守り代わりの雨合羽はザックに忍ばせて楽しい山行にしましょう。



ボランティアの皆さんのおかげでたくさん木材が整備が必要な登山道に運ばれました。おかげさまで9月8日、最後の木材が山に上がりました。荷上げに参加された登山者のみなさんから来年もつづけて欲しいという声が多く、山道の整備している者からすると、とても嬉しく思います。これからも続けていけたら、と思っていますので、ご協力お願いいたします。